



妻本達夫流儀代表



宮崎武師範



米原亀生十五代宗家



無雙直傳英信流

鈴木英印師範



終焉之地川越市 川合市長、生誕之地山形県村山市齋藤副市長、住職を囲んで道祖をしのぶ



伯香流

大窪敏明師範



無雙神傳英信流

森本邦生貫注代表



関口流



神将夢想神傳重信流



無外派

田中泰一師範



関口流



無雙直傳英信流



田宮流



無雙直傳英信流

森顯代行

居合抜刀始祖 林崎夢想流祖 林崎其助重信 略伝 天文11年正月出羽楢岡在林崎に生まれる。幼名を民治丸といい、父没野数馬重治、元足利將軍の家臣幕閣の要職にあった。由有り奥州に旅立ち楢岡城主最上豊前守の家臣となり文武に秀いで多に活躍す。天文16年11月雪降る中、山形霞城主最上義守侯の家臣坂上主膳の夜襲により絶命する。時に民治丸6才であった。弘治2年民治丸母子意を決し、林崎大明神に父無念仇討宿願と千日の願を掛け修練続く満願の夜社前に於て仮眠する民治丸の夢枕に林崎大明神示現千変万化の法を具現、長柄の刀法に称有り。伝統遂に絶妙に達する居合抜刀の刀法を翻然自悟する。永禄2年吉月元服名を林崎其助重信と改める。永禄4年父の仇討本懐を京で遂げり。文禄4年5月10日より慶長3年9月15日まで7年間武州一ノ宮(今の太宮)に居住す。元和2年2月28日より翌年7月20日まで武州川越の塙高松勘兵衛の所に滞在し東奥に旅立つ。途中に於て病死す。時に73歳。享保元年7月30日命没後98年日川越蓮馨寺にて仮葬儀をしていたものを大々的に法要を営み墓碑を建立する。高松勘兵衛信勝の曾孫(一の宮流典幸四郎藩主)日本を代表する剣士が一同に会せるのも林崎道祖のおかげ。道祖が遺した古流の道は日本の偉大な文化遺産。この居合之道の輪をもっとも大きく広げて日本民族の柱にしたい。

平成二十七年四月十二日に行われた奉納演武会 土屋隆光・大石広治撮影